

# 事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	3047	(H.24)No.	3047
-----------	------	-----------	------

事務事業名		ほ場整備事業助成金			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
産業部		農林資源室		松井 保	63-7635
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	平成	年度～	平成	年度	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	2 美しい自然に包まれた、憩いと潤いのある暮らし
	基本政策	3 新しい名張農業の振興と農山村の整備
	施策	1 農村環境整備
	小施策	5 計画的な集落環境整備
	重点施策コード	

## 2. 予算区分

会計区分		事業コード	321501
一般会計		(中事業名)	予算書事業名
款	農林水産業費	債務負担に係る年次補助金	
項	農業費	(小事業名)	
目	農業基盤整備費	ほ場整備事業助成金	

## 3. 事務事業の概要

事業概要	
<p>&lt; 事業内容 &gt; 年度別償還金の償還分(1/2)を助成する。</p> <p>&lt; 対象者 &gt; 名張市土地改良区</p>	

めざす効果(事業目的)	
<p>零細で分散していた農地を農作業がしやすいように一体的に整備するとともに、集団化することで効率的な営農が行えるよう実施したほ場整備事業について、地元負担金として借り入れた資金の償還金を助成することで地元農家の負担軽減を図り、農業の振興に寄与する。</p>	

## 4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

主な事業の実績・計画	平成23年度 (実績・決算見込)	平成24年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
			補助金・交付金	その他 ( )	
			平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)	平成27年度 (計画)
	事業内容 ・鶴山工区 : 1,183,541円 ・赤目工区 : 12,854,954円 ・滝の原工区 : 18,593,428円	事業内容 ・鶴山工区 : 798,715円 ・赤目工区 : 7,810,193円 ・滝の原工区 : 16,142,170円	・鶴山:173,439円 ・赤目:5,292,017円 ・滝の原:14,455,234円	・赤目:3,671,719円 ・滝の原:11,750,650円	・赤目:1,821,196円 ・滝の原:9,036,419円
直接事業費	32,632千円	24,752千円	19,920千円	15,422千円	10,857千円
財源内訳(千円)					
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他( )					
一般財源	(0) 32,632	24,752	19,920	15,422	10,857
人工数					
職員	0.08人	0.07人	0.07人	0.07人	0.07人
臨時職員等	0.01人	0.01人	0.01人	0.01人	0.01人
概算人件費	(0千円) 601千円	528千円	528千円	528千円	528千円
+ 総事業費	(0千円) 33,233千円	25,280千円	20,448千円	15,950千円	11,385千円

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の( )内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

### 5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	償還金残高	千円	-	-	-	-
	実績			45,623	43,629	39,819	32,632
	目標						
	実績						

### 6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価・各指標等)	今後の対応方針
償還金の助成を行い、地元農家の負担軽減を図ることができた。	土地改良区の組合員である各農業者の農業経営等への影響を考え、現行どおり事業を実施していく。

### 7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見

### 8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢 ・ の場合) (4)は の場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を行うことができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない ない	
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない) 反映予定なし(該当しない)	
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	

### 9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む)

継続(現行)

「継続(現行)」の場合のみ理由を記載

現行どおり事業を実施しなければ、土地改良区の組合員である各農業者の負担が大きくなり、農業経営が圧迫されるために、「なばり農業」の推進が妨げられ、農業振興が阻害される恐れがある。

特記事項